

分野：②

(校庭にツミやオオムラサキの棲む学校ビオトープを創ろう)

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 所沢市立西富小学校 6年(62人)

所要時間



1時間20分

場所 所沢市立西富小学校

実施時期

令和2年11月9日

概要

校庭の一角に地域の野生の生きものが棲める学校ビオトープを創る
 ビオトープの目標種はツミとオオムラサキ
 水辺と林と草地を創る
 できるだけ子ども達の手で、創るだけでなく継続性をもつ

プログラムの ねらい

地域の自然を守り育てるために全校児童が参加する。
 先ずトップバッターは6年生から始める。
 スコップを使って水辺の池を掘る、池の大きさと深さを覚えてもらい、低学年から聞かれても答えられるようにする。池に棲む生きものを考える。

プログラムの内容

1 ビオトープの意義と役割(5分) 1クラス40分授業を2クラス

なぜビオトープを創るのか(5分)
 道具の使い方、注意すべき点
 完成予想図をホワイトボードで示す

2 スコップで穴を掘る(30分)

スコップを交代で使う。
 友達に怪我をさせないようにお互いの間隔を取る。
 定規を使い掘った深さ測る。



3 活動を振り返る(5分)

作業前と後の様子を観察する。
 全員で集合写真

受講者の反応

始めは柔らかい土でしたが、掘っていると固い部分もあって汗を流しながらの作業が進められましたが、さすがに6年生は体力もあるので、思ったよりもたくさん掘れたので出来上がりが楽しみです。

スコップを使うのは始めてだったので不安でしたが、友達と協力しながら掘ることができて楽しかった。土の中からカエルが出てきたのでびっくりした。